



SEASIDE

湘南学園
75周年記念号
Vol. 16

「協働」力で 学園発展に資する

湘南学園同窓会

会長 佐藤 允 (中S27年度卒)

湘南学園が創立75周年を迎えられたこと、ご同慶の至りです。

我々同窓会も気持ち新たに、学園80周年、いや、90周年、100周年への歩みに協力を惜しまない所存です。

今後とも世界も日本も多事多難、学園を取り巻く環境は平坦ではないでしょう。その中でいわゆる「学園力」をあげるために努力を重ねられるご関係者、とりわけ教職員、PTA、理事の皆様と同窓会とが、緊密なコミュニケーションを図り、同窓会会員と学園とのパイプ役をまずは担うことに注力することから、学園との「協働」を目指したいと思います。

同窓会会員の皆様、各クラス会を軸にして、ともに学んだ湘南学園を誇りに思い、語り継いでいくことが「学園力」を高める「協働」の第一歩だと信じます。同窓会の呼びかけなどに耳を傾けられ、企画・事業にぜひご参加ください。そして、学園の発展をともに喜び合おうではありませんか。



同窓会のシンボルマーク(予定)



学園からのメッセージ

75周年に寄せて

学校法人湘南学園
理事長 小田 拓也

2009年の年明けを迎え、改めて新春のお慶びを申し上げます。

湘南学園同窓会の執行部、会員皆様におかれては、日頃より多大なるご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。また、75周年イヤーにおいては、学校法人、同窓会とこれまでより一歩前進した意志の疎通が図られたことは、将来にとって大変喜ばしいことと感ずる次第です。

さて、昨年8月に米国から端を発し世界に波及した金融危機により、雇用、個人消費、企業の設備投資などの冷え込みが、連日のように報道され世情が一気に暗転したかのような印象を与えています。しかし、実態経済から大きく乖離した状況を作り出した投機マネーの暴走、性急に利益・成果を求める風潮などに、危機感を覚える多くの方々がいらっしゃるのではないのでしょうか。

ここ数年、私学経営の環境の変化が速度を上げていることが実感されましたが、特に昨年後半から経済状況の悪化によりその動きが一層、顕著になりました。昨年4月に法人も新体制となり、75周年を迎えましたが、私学の経営環境が大きく変化する現状を前にして、単に記念行事を行うことと捉えるのではなく、本学が社会から評価を受け、健全経営による持続的な発展を将来に向けて考える年と位置付けました。将来の指針を考えて行く為には、これまでの歴史、経営の在り

方、システム、本学の風土をしっかりとした総括に基づき、建学75年の歴史に連続性を持たせることが非常に重要になると認識しております。同窓会会長はじめ、会員の皆様には、湘南学園の時々をつないでゆくパートナーとしてこれからも宜しく御願いを申し上げます。

同窓会員皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



湘南学園の「新しい風」

学校法人湘南学園 学園長 藤岡 貞彦
湘南学園同窓会 名誉会長

創立75周年をむかえた湘南学園に、「新しい風」が吹いています。

昨秋、多くの観客をあつめて行われた75周年記念京劇の公演と、他私学の関係者をも招いて行われた記念祝典は、75周年の歴史にのこる2大行事となりました。学園祭での同窓会行事も今年はとりわけ多くの方々が交流される場となりました。同窓会の皆さんの2大行事への参加もありがたいことでした。学園の「新しい風」といえます。

なかでも、昨年来、長い間の念願であった、湘南学園における国際文化交流と国際理解教育の前進が、学園史の上で特記すべき「新しい風」となり、今後の展開に、大きな期待が寄せられています。



中高教育の中で重ねられてきたカナダでの研修旅行もすでに4回を数え、毎回50人ほどの参加をえて伝統行事となりましたが、昨年来、オーストラリアの名門校との相互交流や新しく韓国への研修旅行が計画され、今年実現します。いずれは、中国をはじめとした東アジアとの交流も、視野に入ってくる、と考えます。

教育の国際化は、学園の改革に具体的な展望を与えます。中高がカリキュラムのコアとしてきた特別教育活動やキャリア形成教育と教育の国際化が結びつく時、中高生の進路決定や学習の目標づくりにも大きな力となるでしょう。たとえば、特別教育活動の報告を海外で行ったり、学内でのプレゼンテーションに海外の青少年が参加してくれば、当然のこととして、外国語使用が当たり前のことになっていくでしょう。情報教育・キャリア教育と国際理解教育の結びつく必要性もそこに生まれるでしょうし、小学校、幼稚園の教育活動にも、必ずや新しい刺激をもたらすでしょう。交流にあたってのホーム・ステイも交流の土台となりましょう。

私学経営のきびしさが明らかになっている今日、学園の「新しい風」の一端をご紹介します。卒業生の皆様のご理解をねがうしだいです。

湘南学園創立75周年式典

2008年11月15日(土)学園創立記念日に約100名の関係各位(含約10名の同窓会員)が、ザ・ホテル・オブ・ラファエロ湘南に集まり盛大に75周年を祝いました。

第I部 式典

学園小田理事長の挨拶で幕を開け、県学事振興課長、県中高協会理事長等来賓が祝辞を述べられ、古市中高校長から75年間の沿革歴史を中心とした学務報告、来年予定されている小学校建設計画等、近未来のプロジェクトがプレゼンテーションされました。

第II部 祝宴

来賓祝辞が聖光学院中高校長等からあり、その後指名により佐藤同窓会長が乾杯の音頭をとり、「湘南地方の私立の名門としての湘南学園は75年の歴史の中で素晴らしい能力、品格の人材を各分野で輩出している。そのパワーを活用して学園力を高める協働をご一緒にしましょう。時は100年に一度といわれる大経済変動期にあたり、学園らしさ(アイデンティティー)の強化と中長期計画を作って改善改革を進める学園を、同窓会として出来る限りバックアップする所存です。私学の二極化が進んで

いる現在、ピンチをチャンスにするよう協働しましょう」と挨拶しました。

祝宴はなごやかにおこなわれ、各所で各人が学園75周年を祝いながらコミュニケーションをとり合いました。

終宴時に藤沢市二見観光協会会長(中S26年度卒)が、「湘南学園は藤沢市の地域力の一本の柱であり、これが折れたり弱まったりすると大変である。良い応援団がついているので、75周年を再スタートの年とし、私立の強み、学園の良さをさらにみがいて欲しい。それには参会者みなさんのお力が必要だ」と挨拶しました。

(編集部 記)



《学園の行事》 湘南学園創立75周年記念公演 孫悟空が湘南学園にやって来た!



主催 湘南学園京劇公演実行委員会

共催 学校法人湘南学園、湘南学園PTA、北京風雷京劇団

演目

「水滸伝 扈家荘」
「項羽と虞美人 霸王別姫」
「孫悟空、大あばれ!」
美猴王

昨秋10月22日湘南学園創立75周年を迎えるにあたり記念事業の一つとして北京風雷京劇団の京劇が学園アリーナで開催されました。

この京劇は「日中友好条約締結30周年」に併せて全国12箇所で開催しているもので、田中法人事務局長のご縁により県下ではただ一箇所、湘南学園で開催実現の運びとなりました。

当日は在校生・PTA・教職員・近隣の方々と同窓生

も招待され中国伝統文化に親しみ、来場された皆様とも、限られた時間ではありましたが交流がもてたことは喜ばしい事でした。

翌日京劇ご一行は、内藤喜嗣氏(高S28年度卒)の紹介で鶴沼海岸にあるニエ・アル(中国国歌作曲者)の碑に詣でられたとのことです。

開催準備をされた皆様にはお礼と感謝を申し上げます。

学園祭への参加

2008年9月27日(土)と28日(日)に、恒例の学園祭が催され、同窓会も例年通り出展を致しました。今年の題目は「過去から未来へ広がる学園の歩み」。前回までは在校生たちと同じ建物の一部屋を使用させて頂きましたが、今回は学園のご好意によりセンターエリア3階の大会議室と中会議室をご提供頂き、今までの倍以上のスペースにての開催でした。

今年の特徴は従来の歴史の展示に加え、中学校第1回生から10回生までの卒業写真を含めた思い出の写真を展示致しました。来場者で該当の方々懐かしそうにご覧になっておりました。或る卒業生は同級生を見つけては

冷やかしておりましたが、肝心の自分が見当たらないとぼやき、「おれこの卒業年度かな～」って言っておられました。同級生や親御さんが写ってますので其の年度に間違いはなく、やっとご自分を見つけられ喜んでいました。(意外と子供の頃の自分の姿は忘れていたのかも)

来年は第10回生(中S33年度卒)から20回生(中S42年度卒)までを展示する予定です。多数のご来場をお待ちしております。又、28日には初めての試みとして、第1回生(中S24年度卒)から20回生(中S42年度卒)まで各学年のクラス会幹事を一同に集め、幹事会を催しました。詳しくは次ページをご参照下さい。



懇親会開催

10月22日の京劇公演終了後、せっかくの機会なので懇親会(ミニ同窓会)を中高ホールに於て開催しました。

秋の夜、津村(大溪)泰彦氏(中S40年度卒)のウクレレ演奏があり懐かしい先輩諸氏の元気な姿に接し学舎を同じくした喜びを分かち合うことができました。最後に歌った学園歌も共に歌えば忘れかけていた歌詞も口を

ついて出て久しぶりに若返ったようでした。

新体制の同窓会事務局ですが、昨年の学園祭の参加展示、京劇の鑑賞、ミニ同窓会と少しづつですが歩み始めております。

今後は学園80周年にむけての準備、会の発展のために、皆様の絶大なご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



《第1回》各学年幹事会

開催日：08年9月28日(日) 13:00~14:30

於：湘南学園学園祭2日目、同窓会展示室(センターエリア中会議室)

出席者：同窓会長他常任幹事10名、学年幹事会代表者
第1回中1回鈴木氏・岡部氏~高20回小川氏
・伊藤氏等16名、学園・藤岡学園長、田中法
人事務局長

主要内容：藤岡学園長から同窓会に後援を期待する旨の
挨拶の後、出席者から下記のご意見ご質問が
寄せられた。

ご意見、Q&Aの概要

Q：同窓生・卒業生の名簿の管理の現状と将来は？

A：現在学園のCPUで管理しているが、同窓会不加入
OBや掲載不可のOB、連絡の無い方も多く60%程度
の把握。幼・小・中・高を前提にすると1万数千名
の同窓生で、今後の更新は各クラス幹事にご協力を
願いたい。再発行は検討中。

Q：同窓会費の支払い率が低い。自動引落としや他校
のケース等参考に支払い易い工夫をして欲しい。

A：まず同窓会の意義を高め、それを告知することが
大事。制度的には学園側をお願いして卒業時全員加
入とか、70歳以上終身会費制とか、ゆうちょ銀行の
オープン化とかを検討中。フォローアップなので

何とか20%以上の納入率(現状は7%~8%)を目
指し度い。現状は一部のOBの好意に甘えすぎて、あ
まりに費用負担が片寄りすぎている。うっかりミス
も多いと思うので、充分告知をしたい。

Q：学年を越えて大きな同窓会(ホームカミング的な)
を考えてるか？

A：現在は各年度幼・小・中・高一本のクラス会、運
動部、文化部の、特に芸術コースの同窓会が開かれ
ている。今後は湘南地方を中心に活躍されている
方々が商工部会を結成、ネットワーク、異業種
交流を先輩後輩一緒になって実現しようと企画して
いる。明年発起人会を予定している。2009年11月3
日には全同窓生参加の楽しく有意義なホームカミ
ングを実施する予定。

Q：湘南地方の学園の存在は教育史の中でも特筆すべ
きものが多く、その歴史と伝統を守るのは大変重要。
昨今の競合環境から、同窓生の果たす役割は大きい
のでは？例えば評議員とか理事とか。

A：現在は学識経験者、同窓生枠が評議員会にあり、
選任権は学校法人が持っており、それなりに活躍し
て頂いている。学園に対し精神的にも経済的にもバ
ックアップしていくことが同窓会の大きな使命と
思う。

今年度の企画・行事予定

“心に太陽を、緑色こき校庭に”学園も今や、白く輝く立派な近代建築になりました。一度、来てみてく
ださい。感じてください。昔の通信簿のことは忘れない人も、同窓会は皆さんを温かくお迎えします。寂
しくなったら来ててください。楽しみに来ててください。同窓会は心のふるさとの幹事です。でも、皆で育て
ていくものです。お待ちしております。

お 知 ら せ

2009年

- 第1弾 3月14日(土) 於 湘南学園中高ホール
PM1:00~1:30 2008年度総会
PM2:00~3:30 春の文化フォーラム(国際化時代)
OB、朝海氏、平野氏講演会
- 第2弾 10月3日(土)~4日(日) 於 湘南学園3階大・中会議室
AM10:00 学園祭参加展示及び大久保先生版画遺作展(両日)
10月4日(日)
AM11:00~12:00 第2回各学年幹事会
- 第3弾 11月3日(火・文化の日) 於 湘南学園アリーナ及び中高ホール
PM1:00 2009年度総会
PM1:30 ホームカミング(音楽会及び懇親会)

あの先生はいま……

桜庭先生ご自宅を訪問

2008年12月25日(木)16時30分～17時30分。

藤沢駅北口から徒歩で約10分、暮れも押し迫った夕方にご自宅を佐藤会長と訪問、奥様とご一緒に昔のままのラバ氏が、私どもを暖かく迎えてくれました。

冒頭、湘南学園の教師となるきっかけは何とマージャンだった、ということからお話は始まった。

1948年当時の1年間、片瀬中学の教員であったご自身が、大久保先生、菅野先生のマージャン仲間であり、「一足先に大久保先生が湘南学園の先生になったのよ、続いて私が」と懐かしそうにおっしゃる。

「大久保先生は江ノ島のおみやげ貝細工に絵を描いていたの」「君も手伝えよと言われて、一時そんなアルバイトもしてたのよ」とラバ氏。ご自身は退職後も海外など奥様と旅に出られた折、スケッチなど楽しまれ、個展も開かれています。

「まだ、湘南学園に入る前だったかな。昭和24年ごろ学園のPTAが講堂でバザーを開催することになって、寄贈品の見張り番をする夜警の3人の先生方と徹夜マージャンをしたが、その夜、父兄からの差し入れ食事の美味しかったこと」など、昨日のここのように笑顔で話される。又、「戦後2～3年は特に中学制度が出来ても先生のなり手が少なく、いろいろと先生仲間でも、おかしな事が起きた時代でね」、「新任で僕の同期の先生は音楽の小川(甲斐)先生、体育の峯島(豊田)先生(ロサンゼルス五輪水泳リレーで金メダル)の3人でね」。

私達は、いつの間にか昔の純粋な幼い生徒二人に戻る。神妙に先生のお話に取り込まれてしまった。

桜庭先生、親称ラバ氏。 50年時効、今だからバラす！

美術の大久保先生との出会い！

学園に入る前、江ノ島土産店の貝殻細工の絵を描く大久保先生の助手をしたラバ氏。

昭和24年度新任3人の先生の功績！

音楽の甲斐先生(小川先生)、宮下園長の歌詞に作曲を手伝い、学園歌を完成させた功績。体育の峯島先生はグラウンド整備、プール造成、ロードレース、記録会新設に功績。ラバ氏、学園文集「松ぼっくり」(現在も続けている)創刊の功績。

日光南間ホテル修学旅行！

小学六年生、当時修学旅行は各自米を持参すること

になっていたのに、遊びたい一心で間違っ袋に入れてきたのは重い木箱に入ったマージャンパイ。持参したのは今や大作曲家平尾昌晃君。袋を開けて、やっと気付いて大泣きした平尾君に米を頒けたのは宮下園長。

講堂でのバザー！

講堂に並べたバザー品。戦後まもない当時では貴重品ばかり。夜警目的に徹夜マージャン。ある時はガードマン・ラバ氏。

宮下園長の入学案内説明会！

東海道線、横須賀線、小田急沿線各地から学園見学にこられた父兄に弁舌巧みな園長。父兄は期待が更に高まる。現実の授業状況にギャップあり、いつ教室を見学されるか不安高まるラバ氏。でも弁舌のみで終わり、ホット。

演劇に情熱！

学生時代から演劇青年ラバ氏。その想いを遂げ、学園中・高の演劇部を創設。それが「サワラビ会」になり、10年弱の活動だったが、ピーク時は学園生徒に限らず白百合の生徒さんまで。地元の養老院などで活躍した座長ラバ氏。

以上、時効話を奥様とご一緒に自宅にて楽しく拝聴しました。

お話の中心は、まさに青年時代の先生そのもの。生徒にとっては兄貴分でした。大正14年生まれの先生は今年84歳、ちょっとお身体が不自由ですが、奥様とお元気に結婚50周年をお迎えになりました。



奥様撮影の
先生の近影

湘南学園創立75周年を、同窓会の皆さんと共にお祝いしていただき、合わせて昔の先生達のお話を伺いました。

前川 力(高S35年度卒)記



先生の
スケッチ作品
(インドにて)

小川先生ご自宅を訪問

2009年1月11日(日) 13時45分～16時

新年早々、昭和24年小学校入学したクラスメイト5人が、5年生の頃新婚間もない先生のご自宅で記念撮影した写真をもとに、55年ぶりに同じメンバーで集合。

先生にぜひお会いしたいなという当時のメンバー樋口弓さんの発案で、実施の運びになりました。(他に旧姓永野、長谷川、城、前川が参加)そして、創立75周年企画の1つとして取り上げさせていただきました。

先生は足を骨折され車椅子でしたが、お若くてお元気、記憶力抜群、そのお話も我々以上に整理されて、迫力に圧倒されました。音楽にご理解あるご主人も90歳を過ぎていらっしゃいますが、その優しさ、仲の良い(先生がお声をかけるときはサトルさん)ご夫婦にホットさせられました。

中学校ブラバン、神奈川県で第一位!

いろいろ楽しい思い出話に花が咲き、当時(昭和28年)「仁丹子供音楽コンクール」、ラジオ東京へ器楽合奏で出演。(狩人の歌、小学校5、6年選抜)(昭和32年)「全国中学校吹奏楽コンクール」、神奈川県第一位(長谷川君以下当時のブラバン24名)など印象深いお話が。卒業後、ここから長谷川君がトランペット、永野さんが作曲で芸大へ。皆さんご存知の学園に芸術コースを創設、「尾高さんをはじめ優秀な先輩の足跡が、後に続けと在校生達に刺激を与え、芸術コースを巣立っていったわ」嬉しそうに小川先生(旧姓甲斐)は笑顔でお話された。追伸、学園歌の作曲は宮下園長の鼻歌を譜面に作曲された小川先生でした。

前川 力(高S35年度卒)記

学園歌(現行)

湘南学園園歌

宮下 正美 作詞・作曲

Moderata

1. もとよう うたを くちびるに
星を眺めたる 青空を
学びの窓に 仰ぎみて
今日を楽しく 歌おうよ

2. もとよう心に 太陽を
自尊のおしえ 身につけて
緑色こき 校庭に
明るい光を まきちらそう

3. もとようことばを 友どちと
眺くみ交わし 松の実の
こぼれておちる 白砂に
足ふみしめて 遊ぼうよ

4. ああ湘南の 海へより
友ようちみる 富士が嶺の
雪の清きに よく似たる
若き世代を 楽しもう



タクトを振る小川先生



昭和24年入学のクラスメートと新婚まもない小川先生



55年振りに小川先生宅を訪問した同じメンバー

グラウンドは見ていた、学園の足跡

学園のあゆみ



1955年頃 中高手前の校庭に池、
運動場に杉山邸が残る



1993年



2004年



1983年
中高東校舎、六号館



1961年
中学校校舎



2005年 第一回新体育祭



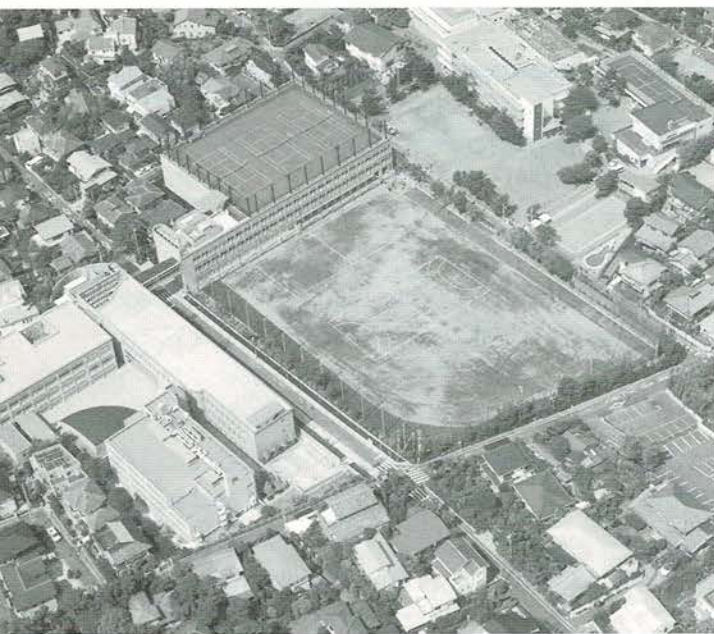
1956年 フォークダンスと高校校舎



1953年頃 背景の建物は、小学校校舎



1983年 本館、体育館



1950年頃
運動場と
小学校校舎



1963年
全校生徒



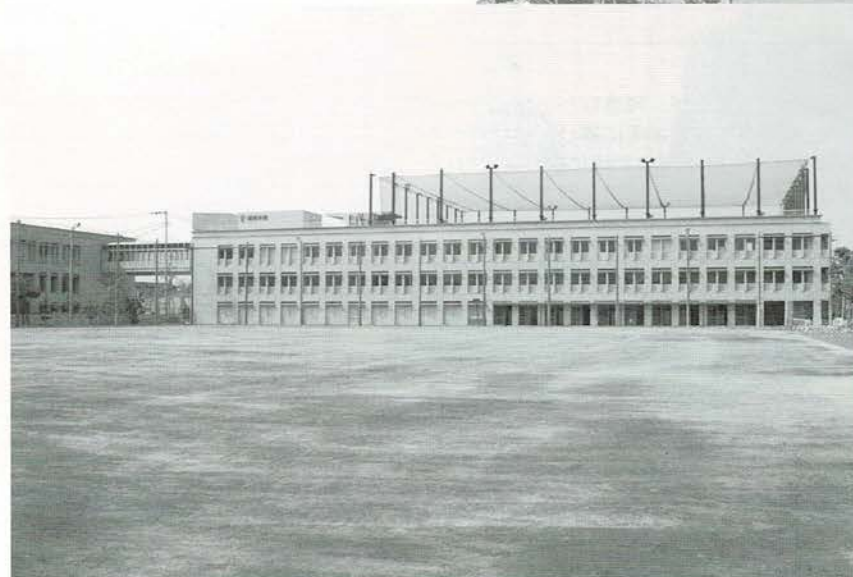
1983年
幼稚園、小学校



1999年
本館、体育館と
増築後の小学校



2004年 現アリーナ



写真提供
大林組
片瀬写真館
湘南学園
鈴木哲夫 他

同窓ネットワーク

湘南学園に学んで

岩崎 徹也 (小S21年度)



私が入学した頃の湘南学園は、まだ創立もない昭和16年で、1学年1クラス10人程度の小さな学校であった。緑の松林に囲まれた教室で学び、砂地の白いグラウンドで遊ぶ学園生活は、のびのびとして明るく自由な雰囲気に満ちていた。今ふりかえって考えると、

当時の先生方には創立にともなって、この学園を充実、発展させようとする意欲があふれていた頃だったのだと思う。生徒達は、先生方からの豊かな愛情を浴びながら、育んで頂いていた。とくに低学年の時に教えて頂いた大森秀先生からは大きな影響を受けた。

幼い頃の体験は、良きにつけ悪しきにつけ、その後の個人の成長に大きな影響をおよぼすといわれる。当時、湘南学園での生活の中で、私達生徒に与えて頂いた良い体験は、その後の各々の成長の過程で、必ずや大きな力となっていったと思うのである。また、幼い頃に外から自分に与えられた体験は、その人が大人になってから、もう一度自分から外の人にむかって、自然に流れ出てくるといわれる。私自身はその後医師となり、大学医学部での教職にたずさわることになった。医学部での教員の仕事が、学生に医学知識、技術を伝えることにあるのはいうまでもない。しかし教員生活を送る私の心の奥には、幼い頃湘南学園で育てて頂いた先生方の暖かい態度が、教師としてのあるべき姿、モデルとして存在していたと思う。

湘南学園は創立75周年を迎え、その間に大きく発展した。同窓会は、湘南学園の精神をひろく後世に伝える大切な役割を担っている。同窓会を通じて、何世代にも亘る多数の同窓生達の間には、良い循環が重ねられることを願っている。

プロフィール

彼と私は学園の同期生ではあるが、残念ながら学園で一緒に学んだことは無い。彼は小学校でよそに移り、私は中学から入ったからである。その後、慶応高校で同じクラスになり、自己紹介の折に、馬術をしていた姿勢の良い貴公子の岩崎君が、学園の同窓生であることが分かって嬉しかったのを覚えている。たまたま大学でも同じクラスになったが、彼はその後医学部へ進み、精神科の医師として、また大学で教師として活躍した。医師としても、教師としても、優秀だけれど穏やかな人柄で、患者にあるいは学生に大いに慕われたものと思う。毎年行われる学園のクラス会で会えるのが楽しみである。
岡部 稔 (中S24年度卒)

学園とゴルフ

渡辺 和彦 (中S31年度卒)

ゴルフ界で活躍された湘南学園OBといえば、共に中学2回生の鍋島直要氏と牛込公一郎氏であろう。鍋島先輩は鍋島藩のお殿様、日本ゴルフ協会の理事や世界アマの監督を務め、プロの倉本昌弘、服部道子を育てた。牛込氏は戦後学生ゴルフの草分けで、早稲田大学ゴルフ部で活躍され、その後長らく同部の監督を務められた。残念ながら鍋島氏は昨年亡くなられたが、牛込氏はお元気でご活躍中。

学園近辺のゴルフ場といえばかつて片瀬山にあった江ノ島ゴルフクラブ。片瀬山には太平洋戦争末期米軍の上陸に備え相模湾に向かってコンクリートの要塞があり、高射砲が何基も備えられていた。戦後数年経ったある日、無用の長物となったその要塞が爆破されると聞き、学校をサボって見に行こうと友達と企んだが果たせなかった。要塞の跡に出来た江ノ島ゴルフ場、獅子文六の小説「大番」の主人公「ぎゅーちゃん」のモデル佐藤和二郎氏が作った。江ノ島や富士山を一望する風光明媚なコース。距離はないが狭く起伏に富んだレイアウトは正確なショットを要求された。学生割引で500円でラウンドできた。このゴルフ場で鍛えられた学園出身ゴルファーは数知れない。コースのすぐ下に住まわれていた長谷川宗近、故金久保凱貞両氏はここで腕を磨き慶應義塾大学ゴルフ部で活躍された。このゴルフ場はその後住宅地として生まれ変わり今はもうない。

もう一つ学園ゴルファーを育てたのが茅ヶ崎の海岸にある茅ヶ崎ゴルフ倶楽部。昭和32年開場で、砂丘に作られた9ホールコース。時に平尾昌晃氏を見かける。佐藤允同窓会長、高嶋浩、長瀬輝行、小川雅章諸氏ほか大勢がメンバーとして楽しんでいる。大和市にある相模カントリー倶楽部には学園出身のメンバーの会があって福田寛、門脇邦彦、渡辺和彦、鈴木滋、三浦浩、横田東平、高田和男、岡晴信諸氏がいる。保土ヶ谷カントリー倶楽部には関家憲一、山下耕平氏等。芙蓉カントリー倶楽部には支配人として石川康雄君。ご婦人も負けていない。小林ミチ、武村知子さんは姉妹ゴルファー(旧姓古閑)である。若い世代にも多くの腕自慢が居られるはず。75周年の機会に同窓会ゴルフ大会を企画しようという牛込氏からの素晴らしいアイデアが提起されているので、同窓生諸君、腕を磨いておいていただきたい。

プロフィール

慶應義塾大学卒。神崎製紙(現王子製紙)勤務の大半をドイツ、米国、タイに駐在、バイリンガルな国際派。スポーツとワイン好きな愛妻家。

湘南学園のDNAは心に残る湘南歌

小泉 光一郎 (中S41年度卒)

湘南学園創立75周年、おめでとうございます。

平塚湘友会は、平成元年頃に昭和41年高校卒の古木振一、浜田純一、平沢和久、水越努さんの諸兄が中心となり、一級下の富田良夫さん(元PTA会長)や三級下の私など現在35名の会員で、中には斉藤宗三、寺田兼方、加藤裕有先生や最年長の川之辺繁さん(中1回)、県議会議員の赤井和憲さんなど『個性豊かにして身体健全、気品高く、社会の進歩に貢献できる、明朗有為な、実力のある人間(湘南学園建学の精神)』の方々が集まりました。年4回ぐらい古木さんが開催を決められ、動員がかかるというのが実情です。去る12月20日には平塚のイタリア館(同窓生川崎さん経営)で忘年会を兼ね、20名の参加があり盛り上がりました。

『1番/もとうよ歌をくちびるに(中略)今日を楽しく歌おうよ、2番/もとうよ心に太陽を(中略)明るい光まきちらそう、3番/もとうよことばを友達と(中略)足踏みしめて遊ぼうよ、4番/ああ湘南の海べより(中略)若き世代を楽しもう』

この学園歌は太平洋戦争敗戦直後の時代背景の中で、宮下正美園長が作詞作曲されたものですが、今でも私達同窓生の心に湘南学園のDNAとして共通に残されています。

詞はカラフルで、透き通る様な青空の下、明るく伸び伸びとした学生や園児達が、自由に楽しく遊び学んでいこうとする素晴らしい内容です。この歌でイメージされる学園教育は私達の人間形成の上で貴重で有益な体験でした。自由な学風のもと、個性豊かな友や先生と楽しい学園生活を過ごせて、感謝の気持で一杯です。この湘南学園のご恩に報いることも大切です。また、同窓生は学園歌の精神や内容をかみしめ、年齢に関係なく伸び伸びと明るく残された人生を楽しもうではありませんか!?

湘南学園、
バンザイ!!



プロフィール

(地域トップ企業相模石油(株)社長、元PTA会長)

生来の頑張り屋の小泉光一郎氏は、学園時代には生徒会長を務め、家業の石油業を継いでからは大きく事業を展開、商工会議所では青年部を設立し初代会長に就任するなど、常に次代を見通し、今では地元のトップ企業として地域発展の先頭に立つて頑張っています。

赤井和憲 (高S40年度卒)

地域と湘南学園

長瀬 輝行 (高S31年度卒)

創立75周年お目出とうご座居ます。

私は昭和20年4月に濃い緑にかこまれた湘南学園小学校に入学しました。以来12年間高校を卒業するまで湘南学園で過ごしたが、現在の湘南学園の学舎を見ると当時の面影はほとんどありません。

私が入学した当時は現在の小学校部分のみの敷地で、1学年1クラスの小じんまりした学園で、上下3、4年生は一緒に遊び、名前は皆覚えているほどでした。

現在のグラウンドの辺りは湿地帯で、真ん中に壊れかけた廃屋があったのを覚えています。2年生か3年生頃であったか、その湿地帯を小学校園舎の隣の砂山の砂を先生方がリヤカーで埋め戻す作業が始まり、生徒もリヤカーの後押しをするなどしてグラウンドが完成し、初めての運動会で直線100m徒競走が出来たことに感激しました。

柳小路にあったB地区での中学校生活は大変不便な環境でしたが、その後新築の校舎で高校生活を過ごしたことは思い出深いものであります。

当時は学園周辺も今の様に家が立ち並ぶ事もなく、幼稚舎の砂山からは隣の鶴洋小学校が眺められ、柳小路のB地区周辺は一面の田圃と池で、休み時間にザリガニ取りや冬は凍った田圃の上でスケート遊びを楽しんだものです。

現在の状況は当時とは大違いで学校の周辺には家が立ち並び、学園の校庭が近辺唯一の大きな広場となっております。

昨今、各地で大きな地震災害が発生しており、この湘南地方においても大きな地震災害発生の可能性が高いと指摘され、地震に対する備えの必要性がいわれております。

大きな地震が発生した場合、住民が一時的に避難したり、家屋が破壊され住めなくなった住民の避難施設として湘南学園が指定されております。

又、鶴沼地区においては各避難施設毎に周辺の自治会が避難施設連絡協議会を設立し、学園側と共に災害発生時への対応を協議しております。

更に昨今、PTAのAは地域を意味し、地域ぐるみの学園への理解・協力が経営面、教育面でも重要となって来て居ります。

そうした意味でも湘南学園が地域と連帯して、その存在感を高めていてもらいたいと願う次第です。

プロフィール

筆者は早稲田大学卒。人格円満、スポーツ好きの湘南学園ボーイ。花王で海外事業を中心に活躍。現在鶴沼自治会連合会会長、藤沢稲門会会長。

「学園テニスの仲間」

中嶋 登（高S45年度卒）

湘南学園は創立75周年を迎え、同窓会報も特集号を発行すると伺い、約60年の歴史をもつテニス部のことについて紹介します。ここに書き記す「テニスの仲間」については、テニス部創設期の大先輩から伺った話と、小生の少し後輩の話です。

湘南地方は、横浜、神戸等に並んでモダンなスポーツが早くから盛んでした。特にテニスは、デヴィスカップの熊谷一弥氏、安部民雄氏、山岸兄弟等が在住され、新進を指導し、そのレベルは高かった。我が湘南学園も昭和26年、今から60余年前から片瀬クラブを借用し、当初から珍しく硬式テニスでスタートし、大勢のテニスプレイヤーを輩出しています。

当時、学園のスポーツは理事長の故田中元八郎氏と故峯島先生（オリンピック水泳金メダリスト）が力を入れておられ、湘南地方では指折りのスポーツの盛んな学校でした。

学園を卒業し、慶應義塾大学、法政大学、日本大学などのレギュラーやインターカレッジ選手の方々も多く、赤星静弥氏、井上政憲氏、笈元則氏、また、田中（水野）美子氏、内山勝氏、別府諸兄氏等文武両道のテニスとは深い関わりをもっている先輩達がいらっしゃいます。

田中さんは、エリザベス・テラー似のテニスプレイヤーで、ジュニア時代大いに活躍し慶應義塾大学女子庭球部のキャプテン、ウインブルドンに挑戦した全日本ミックスの優勝者。現在は米国で日本料理店のママさん。

内山氏は、中央大学時代はランキングプレイヤー。その後、NHKのウインブルドンの解説者、フェデレーションカップ監督等から、現在最もテニス事業で成功していると言われている湘南スポーツセンター（SSC）社長で、若手選手からクルム伊達さんまで育成していらっしゃる方。現日本テニス協会常務理事。『湘南学園テニス部の面倒を見たいですね。』とおっしゃっております。

別府氏は、日本のスポーツ医学分野の権威です。日本テニス協会の医学顧問として、国際試合には選手団に同行し大切な役割を立派に勤めていらっしゃいます。

さらに、若手のテニスマンには、捧恵一氏、丸林徹氏、吉原秀樹氏、中野正剛氏等々の全日本級のプレイヤーがそろっています。

現在の学園には、素晴らしいコートがあります。当時は1面しかないコートの中・高校で使用していました。中高学年の区別なく共に練習に打ち込み、夏の校外合宿など激しくテニスをしたものです。

このほかにも大勢の現在でも活躍されている20歳代から40歳代のテニス部のOB・OGの方々がいらっしゃると

思います。以前にテニス部顧問の斎藤先生を囲んで、テニスと懇親会を開催しました。残念ながらテニスの方は、雨天のため実現できませんでしたが、皆さん中学・高校時代にも戻って楽しい一時をすごしました。大半の人が、テニスを続けています。

生涯スポーツとして今でも近隣の鎌倉ローン、SSC、鶴沼クラブ、プリムラTC等で大勢のメンバーが活動しています。近いうちに、テニス部全体の懇親会が開催できたら良いと思いますが。

現役との交流も深めたいものですね。

ガンバレ!! 湘南学園テニス部!

プロフィール

スポーツマン（テニスよりラグビーが似合う?）。湘南学園では考古学寺田先生の秘蔵っ子。明治大学から東海大学大学院を経て、卒業後藤沢市役所勤務。温かな中に筋が通るキラリと光る個性。同窓会長代理、副会長を歴任。

社会事業と湘南学園

捧 恵 一（高S49年度卒）

私は幼稚園から高校までの14年間、学園でお世話になりました。

学園での生活を思い出すと、幼稚園ではとにかく夢中で遊び、小学校ではいたずらを沢山し、幸運にもロサンゼルスオリンピック（1932年）金メダリストの故峯島久吉先生に水泳の指導を受けることができ、中学からはテニスを始めて夢中になり、高校卒業までの6年間テニス漬けの日々を過ごすなど、本当に語り切れぬ多くの思い出があります。

とりわけ夢中になったテニスでは、高校3年の時、県大会でシングルスベスト8に入り、その後行われた5位決定戦を勝ち抜いて関東高校選手権の代表に選ばれ、そのときの充実感、生涯忘れられぬ思い出です。

また高校時代、理由は覚えていませんがスパルタ教育の村田先生に廊下に連れ出され「目を閉じろ、両足を開け、歯を食いしばれ」と殴られんばかりの逆鱗に触れたことなど、今でも懐かしく思い出されます。

当時の学園は各学年少人数（小学生の時はクラス27名）でほとんどの上級生、下級生の顔が分かるという独特の校風が生徒にごく自然な形で、物事の良し悪し、先輩（目上の人）への尊敬の念・同級同士の協調性・後輩（弱者）への思いやりやいたわりの気持ちを身に付けさせてくれたと思います。

大学卒業後製薬会社勤務を経て、高齢者福祉の世界に転進することになりました。以来22年、高齢者福祉の現場も様変わりし、介護保険制度の導入は、高齢者の介護をそれまで社会福祉法人等の「使命感」を基盤に行われ

ていたものから、多様な業種からの参入を可能とした産業へと変わりました。

さらに近頃、マスコミ等に3K（きつい、きたない、きけん）の職場、「介護職になり手がない」など、マイナス面だけが報道され、慢性的な人手不足が続いています。

私の施設作りのモットーは、「自分の親に受けさせたいと思えるケア」です。職員が自分のケアに迷った時、「今のケアを最愛の人に受けさせたい」と思えるか問うことで「軌道修正する物差し」になると思い、実践しています。

高齢者福祉の世界は、制度の変革なども背景にして厳しい現場であることは確かです。しかし基本となるのは、人への「思いやり」や「いたわり」の気持ちであり、それ

こそ学園生活で自然と育まれたものであると思います。

プロフィール

昭和31年生まれ。社会福祉法人竹生会常務理事、特別養護老人ホーム芭蕉苑施設長、公職も多数。捧さんを一言で表現すると、「信念と一筋の人」である。一見、もの静かで穏やかに見えるが、その内面は実に熱い。学園と法政大学体育会での厳しい練習を潜り抜けたテニス一筋の10年、そして、飛鳥田一朗医師（竹生会理事長、元横浜市長の飛鳥田一雄氏は伯父である）との出会いから導かれた、高齢者介護の現場での22年。いま、藤沢は言うまでもなく神奈川の高齢者福祉の世界で捧さんの名前を知らぬ者はいないと言っても過言ではない。その高齢者福祉充実に向けた熱い志と、人々への温かく優しい眼差しは、正に学園魂そのものである。

齋藤健夫（小S55年度卒）

2008年度 総会と春の文化イベント同時開催

湘南学園同窓会 2008年度総会開催のご案内

このたび下記により同窓会総会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、何卒ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時：2009年3月14日（土）

午後1時00分～1時30分

場 所：湘南学園中高ホール

次 第：1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議案審議

第1号議案

同窓会会則改定(案)審議の件

第2号議案

役員選任の件

第3号議案

その他

4. 閉会

第1回「松ぼっくりフォーラム」 開催のご案内

今日本は、いや世界中が不景気の渦に否応なしに巻き込まれています。この難しい時期に、日、米資本による一流メーカー企業の舵取りを学園出身社長が手腕を振っています。（平野氏）

外務省からミャンマー大使、欧州特命大使を歴任、外務省大臣秘書官、経済審議官の経験もされた学園出身の海外通。（朝海氏）

同窓会が皆様に推薦する卒業生お二人に、難しい今を斬ってもらいます。このフォーラムの機会に学園ホールで、皆さん一緒に考えてみましょう。同窓会がこの場を提供いたします。

日 時：2009年3月14日（土）午後2時～3時30分

場 所：湘南学園中高ホール〈200席〉

*開場は、午後1時45分より

*入場無料

講演同窓生

○キャタピラージャパン(株) 取締役社長

平野昭一氏（中S32年度卒）

○元欧州連合（EU）大使

朝海和夫氏（小S29年度卒）

（司会進行 常任幹事 前川 力）

VIVA SHOUNAN GAKUEN SEVENTY FIFTH ANNIVERSARY. VIVA SHOUNAN GAKUEN SEVENTY FIFTH ANNIVERSARY. VIVA SHOUNAN GAKUEN SEVENTY FIFTH ANNIVERSARY.

湘南の皆様と共にあゆむ企業です。

相模石油株式会社

本社 平塚市紅谷町16番4号 (0463) 22-0201(代)

HP www.sousekisan.ne.jp

代表取締役 小泉 光一郎 (中S41年度卒)

ENEOS エネルギー事業部 (0463) 22-0200

ガ ス 課 (0463) 55-9308

保険部 (損害保険・ガン保険) (0463) 22-0205

ORIX オリックスレンタカー (0463) 23-0543

F・ドリーム平塚 (0463) 24-3786

ダイレクトパーク (0463) 22-8989

タイムズ相石・パーク (0463) 22-0264

ソータス・車検センター (0463) 34-3334

バッティングパレス秦野 (0463) 86-0289

アクアクララ南関東 (0463) 73-4132

BOOK OFF 平塚駅西口店 (0463) 24-2902

サンマルク大磯店 (0463) 61-0309

炭火焼肉酒家牛角平塚店 (0463) 25-4129

VIVA SHOUNAN GAKUEN SEVENTY FIFTH ANNIVERSARY. VIVA SHOUNAN GAKUEN SEVENTY FIFTH ANNIVERSARY. VIVA SHOUNAN GAKUEN SEVENTY FIFTH ANNIVERSARY.

同窓会役員紹介

役職	名前	卒業年度	自己紹介の一言
会長	佐藤 允	中S27	YES, WE WILL.
副会長	中嶋 登	高S45	12年間の学園で育んだ“喜”“怒”“哀”“楽”を大切にしています。
同	堀井 義一	高S45	学園生活の14年間、同級生の家内。姉や義兄を含めて湘南学園純情ファミリー。
常任幹事	財部 實禧	中S29	人生楽しく元気に頑張りたい。
同	桑島 宏忠	高S33	学園バンザイ。
同	友野 三平	中S30	本気で厳しくやさしかった学園生活。本音でなつかしい。
同	渡辺 和彦	中S31	学園の良さを伸ばしたいですね。
同	前川 力	高S35	人のために役立つことを、でも、やりすぎないこと。
同	鈴木 陽子	高S35	明るく仲良く。
同	三浦 浩	中S34	CHANGE。(過去に捉れず、明日に悩まず、現在を楽しもう)。
同	内山 則子	高S38	前向きに！

役職	名前	卒業年度	自己紹介の一言
常任幹事	赤井 和憲	高S40	生涯、青年の気概で頑張ります。
同	山口 幸雄	高S40	学園一すじ。
同	土屋 真理子	高S40	やっぱり学園は素敵!! 最近再発見もイッパイ!!
同	加藤 博久	高H4	鶴沼大好き人間。
同	前田 忠厚	高S58	常に前進!!
同	齋藤 健夫	小S55	和の精神で頑張ります。
同	山口 佳久	高S59	
監査	平田 茂	高S45	
同	前場 靖弘	高S45	転居の為高1途中からの入学ですが、学園大好き人間です。
参与	岡部 稔	中S24	学園は、心の故郷の様に思える。
同	内藤 喜嗣	高S28	75周年を迎えた湘南学園の歴史、伝統資料はおまかせ下さい。
同	安斎 直孝	中S25	湘南学園を愛す。
同	富岡 定靖	高S30	おおらかに！
同	高嶋 浩	中S27	明日があるよ。



同窓会を運営していきますメンバー一同の揃い踏みです

昨年来大幅にメンバー交替して新生同窓会ボランティアチームが誕生しました。

この1年間、75周年記念事業としていろいろな苦勞をしながらプロジェクトを動かしてきました。

1. 創立75周年記念号の発行プロジェクト
2. 学園祭への積極的参加(初の3F大・中会議室を2日間使用した展示と学年幹事会の開催。)プロジェクト
3. 春の文化フォーラムプロジェクト(初の同窓生による講演会開催)(中高ホール)
4. 学園主催75周年記念「京劇鑑賞会」への招待、初の「ミニ同窓会」の開催。(中高ホール)プロジェクト
5. 同窓会会則の見直しと総会の実施

来年、再来年、5年後の80周年にむけて、次の若い世代(といっても我々から見ればであります)がバトンタッチをしながら、活動の輪を広げていきたいと全員が願っています。皆さんと共に学園のため「協働」がスタートしました。

明朗有為な
実力ある
人間を育てる

歴史ある男女共学



学校法人 湘南学園

〒251-8505 藤沢市鶴沼松が岡4-1-32

TEL 0466-23-6611

幼稚園 小学校 中学校 高等学校

2010年度の児童・生徒を募集します。
ご家族・ご親戚・ご友人で入学される方をご紹介ください。

法人事務局

祝 創立75周年

(順不同、括弧内は卒業年度)

<p>外科・内科・整形外科・消化器科 別府病院 院長 別府 倫 兄 (中S34)</p> <p>〒251-0016 藤沢市弥勒寺1-23-10 電話 0466-26-1515(代)</p>	<p>株式会社平塚竹田組 相談役 川之辺 繁 (高S27) 専務取締役 川之辺 潔 (高S55)</p> <p>〒254-0014 平塚市四之宮2-4-21 電話 0463-21-5196 FAX 0463-24-6705</p>	<p>磯料理 仙水・海産物 丸代 二見 幸 男 (高S29)</p> <p>〒251-0036 藤沢市江の島1-4-19 電話 0466-26-4701</p>	<p>株式会社アルファ映像 代表取締役 崎 田 英 継 (高S45)</p> <p>〒247-0063 鎌倉市梶原2-12-17 電話 0467-43-0139 FAX 0467-47-1766</p>	<p>奥 医院 院 長 奥 義 治 (高S42)</p> <p>〒251-0045 藤沢市辻堂東海岸4-13-3 電話 0466-36-8513</p>
<p>中山眼科医院 院 長 中 山 義 章 (中S33)</p> <p>〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-2-4 電話 0466-22-3137</p>	<p>株式会社聖建築事務所 代表取締役 鈴 木 和 夫 (小S34)</p> <p>〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-1-2-201 電話 0466-27-9910</p>	<p>有限会社マイティー 代表取締役 鈴 木 和 夫 (小S34)</p> <p>〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-1-2-201 電話 0466-27-9910</p>	<p>スナック「ミテロ」 高 久 孝 允 (高S35)</p> <p>〒251-0055 藤沢市南藤沢2-10 ワカバビル5F 電話 0466-23-2400 FAX 0466-50-6033</p>	<p>島の茶屋 あぶらや 秋 岡 恵 利 子 (中S40)</p> <p>〒251-0036 藤沢市江の島2-5-8 電話 0466-50-6180</p>
<p>株式会社東和酵素 宮 崎 和 男 (高S40)</p> <p>〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1の6 電話 0463-31-1872</p>	<p>禪建築事務所有限公司 代表取締役 前 場 靖 弘 (高S45)</p> <p>〒252-0815 藤沢市石川5-9-8 電話 0466-88-7074</p>	<p>熱田歯科医院 院 長 熱 田 真 一 (高S40)</p> <p>〒251-0055 藤沢市南藤沢22-14-601 電話 0466-22-2386</p>	<p>合資会社脇田商店 しらすと伊勢海老の忠兵衛 代 表 脇 田 忠 (高S35)</p> <p>〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-11-20 電話 0466-22-2511</p>	<p>奥山動物病院 院 長 奥 山 寿 一 (中S33)</p> <p>〒251-0031 藤沢市鶴沼藤が谷4-14-15 電話 0466-27-1181</p>
<p>マハラニ インドレストラン 池 田 謙 二 郎 (高S29)</p> <p>〒251-0055 藤沢市南藤沢3-6 電話 0466-50-4555</p>	<p>舟善 磯料理・海産物 鈴 木 修 (高S40)</p> <p>〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-3-4 電話 0466-27-0048</p>	<p>ラインバック 雑貨店 甘 粕 隆 (高S42)</p> <p>〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-8-40 電話 0466-22-4305</p>	<p>有限会社紀の国屋本店 魁まんじゅう製造販売 会社役員 湯 浅 裕 一 (高S43)</p> <p>〒251-0036 藤沢市江の島2-1-12 電話 0466-22-5663</p>	<p>アドスタジオ 広 浜 哲 哉 (高S39)</p> <p>〒251-0043 藤沢市辻堂元町1-15-17 電話 0466-36-9544 FAX 0466-36-9544</p>
<p>アリガ動物病院 獣医師 有 賀 誠 (高S43)</p> <p>〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷2-34-7 電話 045-892-0087</p>	<p>羽坂医院 館 野 ま ゆ み (旧)羽坂まゆみ (高S49)</p> <p>〒251-0027 藤沢市鶴沼松が岡4-16-15 電話 0466-22-1433</p>	<p>宝製菓株式会社 岩 崎 好 男 (高S32)</p> <p>〒245-0065 横浜市戸塚区東俣野町1750 電話 045-851-2001</p>	<p>株式会社小浜土地建物 代表取締役社長 大 八 木 信 義 (高S45)</p> <p>〒253-0021 茅ヶ崎市浜竹3-3-37 電話 0467-89-2622 FAX 0467-89-2621</p>	<p>ステップス株式会社 代表取締役 榊 井 規 雅 (高S35)</p> <p>〒250-0862 小田原市成田508-2 電話 0465-39-1177 FAX 0465-36-2526</p>
<p>株式会社相馬屋 代表取締役 長 妻 啓 之 (中S29)</p> <p>〒251-0024 藤沢市鶴沼橋1-5-1 電話 0466-23-1615</p>	<p>株式会社湘南ミサワホーム不動産 代表取締役 猪 俣 成 人 (高S50)</p> <p>〒251-0024 藤沢市鶴沼橋1-15 平本ビルF 電話 0466-23-7000</p>	<p>ヒール アンド トウ 代 表 鈴 木 克 彦 (小S28)</p> <p>〒251-0038 藤沢市鶴沼松が岡2-13-10 電話 0466-22-4331</p>	<p>フルール ドウ アンジュ (プリザーブドフラワー) 遠 藤 紀 子 (高S61)</p> <p>〒251-0055 藤沢市南藤沢7-2 イトーピア藤沢406 電話 0466-23-9353</p>	<p>株式会社古木ビル 代表取締役 古 木 振 一 (高S42)</p> <p>〒254-0043 平塚市紅谷町2番3号 電話 0463-21-1542</p>
<p>株式会社梅屋 代表取締役社長 濱 田 純 一 (高S41)</p> <p>〒254-0043 平塚市紅谷町5-20 電話 0463-22-4147 FAX 0463-23-8981</p>	<p>有限会社ル・アンパック 代表取締役 富 田 良 男 (高S42)</p> <p>〒254-0807 平塚市代官町8-6 電話・FAX 0463-21-2922</p>	<p>湘南コンサルティング株式会社 代表取締役 平 澤 和 久 (高S41)</p> <p>〒254-0811 平塚市八重咲町9-3 電話 0463-21-9939 FAX 0463-21-9909</p>	<p>イタリアンレストラン イタリア館 川 崎 賢 (高S39)</p> <p>〒254-0811 平塚市八重咲町21-28ドエル杉山1F 電話 0463-21-6919</p>	<p>レストラン・ミモザ 中 野 加 津 子 (高S41)</p> <p>〒254-0807 平塚市代官町11-34AFKビル2F 電話 0463-22-5705</p>
<p>株式会社荏原湘南スポーツセンター 代表取締役社長 内 山 勝 (小S31)</p> <p>〒251-0862 藤沢市稲荷1-9-1 電話 0466-81-3411 FAX 0466-83-0012</p>	<p>国府津館 簗 島 哲 夫 (中S40)</p> <p>〒256-0812 小田原市国府津3-8-8 電話 0465-47-2155</p>	<p>株式会社大広社 代表取締役 大 森 文 夫 (高S35)</p> <p>〒256-0812 小田原市国府津2699-6 電話 0465-48-1293</p>	<p>榊井印刷有限公司 代表取締役 榊 井 規 雅 (高S35)</p> <p>〒250-0862 小田原市成田508-2 電話 0465-36-5647</p>	

～夢に向かって～

70周年記念曲として同窓生平尾昌晃氏（中S27年度卒）が
作曲、補作詞（平成16年在学生一同作詞）されたものをご紹介します。
これは同窓会の応援歌でもありますね。

海……輝く
空……果てなく
夢……ひろがる
この 学園で
しかられて ともに泣き
学びあそんだ 時間(とき)を忘れて
夕陽に染まった 広いグラウンド
汗にまみれた ユニフォーム
湘南の海は 僕らの夢を乗せて
湘南学園 心の学び舎

波……きらめく
星……眩しく
夢……育てる
この 学園で
空を舞う 鳥のように
翼広げて 明日へ旅立つ
つらい時でも 肩抱き合っ
いつも笑顔を 分かち合う
湘南の海は 僕らの初恋さ
湘南学園 青春の架け橋

湘南の海は 世界につながる道
湘南学園 永遠の学び舎

同総会からのお願い

- SEASIDE Vol.16（11,000部発行）をお届け致します。同窓会では経費節減に努めておりますが、現況10%以下の方の会費と寄附金で成り立っております。75周年を記念して、是非今回からより大勢の方達の会費納入をお願いし、併せて応分のご寄附をお願い頂ければありがたく存じます。
- 2004年版同窓会名簿残100部（幼・小・中・高約1万数千名）、次の発行見込みはありません。1部2,000円（送料別）。申し込み順に送付させていただきます。

編集後記

湘南学園75周年記念号をお届けします。ご意見、ご感想等をお寄せ下さい。私共は明るく役に立つ同窓会を目指しております。ボランティアとして「協働」して頂ける方は事務局までご連絡下さい。発行にあたりご寄稿いただいた方々、お祝い広告の協賛、ご尽力いただいた同窓生の皆さま、鈴木哲夫、前場洋子各氏に紙面にてお礼申し上げます。

SEASIDE 2009.03.01 Vol.16

発行 湘南学園同窓会本部事務局
〒251-8505 藤沢市鵠沼松が岡4-1-32 学校法人 湘南学園内
TEL.0466-23-6611
印刷 榊井印刷有限会社

その丘にあがれば、
晴れた未来が
見渡せる。

私たち森ビルが、
ビルズに込めた想いです。



森ビル株式会社
代表取締役社長 森 稔
(中S24年度卒)